

## 2007～2009年のあゆみ

### 中国帰国者定着促進センター

- ◇は外部からの視察、見学等の受け入れ  
◆は外部で行われた研修会等への協力

2007年

1月	<b>第80期生 入所</b>
	◆文化庁日本語教育大会パネルディスカッション(パネラーとして)
	◇読売新聞 取材：中国帰国者向け日本語教材について
2月	◆九州中国帰国者支援・交流センター主催「まなびや」(那覇市)にて講演
3月	◆東海・北陸中国帰国者支援・交流センター主催「まなびや」(富士市)にて講演
	◆中国帰国者支援・交流センター主催「高齢帰国者向け日本語教室」運営事業研修会(助言者として)
	◇中国残留孤児集団一時帰国者等 来所、見学
	◇大阪府立成美高校 教諭 来所、見学
	◇中国政府外交部 孤児問題担当官 来所、視察
4月	◇所沢市立美原中学校 教諭 来所、外国人児童生徒の学習相談
	◇立教大学教授他4名 来所、聞き取り：サハリン帰国者について
	◇朝日新聞 取材：全国の高校入試特別措置状況等について
5月	中学生クラス 所沢市立中央中学校 体験入学(約1週間)
5月～6月	小学生クラス 所沢市立美原小学校 体験入学(約1か月間)
6月	◇中国残留孤児集団一時帰国者等 来所、見学
	◆国立国語研究所「生活者に対する日本語教育-コミュニケーション能力」研修会にて講義
7月	<b>第80期生 退所</b>
	<b>第81期生 入所</b>
	◆都留文化大学にて講演：「帰国者問題について」
	◆東京学芸大学国際教育センター 運営協議会に出席(協議員として)
8月	◇板橋区教委「日本語学級研修会」区内日本語学級教諭他10名 来所、見学
	◇所沢市立泉小学校 教諭20名 来所、見学(校内研修の一環として)
9月	◇衆議院事務局 調査局・厚労調査室長・調査員等6名 来所、視察
	◇中国政府孤児問題担当官 来所、視察
	◇中国残留孤児集団一時帰国者等 来所、見学

	◆埼玉県教委高校教育指導課 平成19年度県立高校教育活動総合支援事業「埼玉県高校生世界円卓会議」第3回事前研修会にて講話
10月	◇多文化共生プラザ職員等 来所、見学
11月	◇国立国語研究所職員 来所、見学、聞き取り
	小学生クラス 所沢市立並木小学校 体験入学(約1か月間)
	中学生クラス 所沢市立中央中学校 体験入学(約1週間)
	◆九州中国帰国者支援・交流センター主催「まなびや」(宮崎市)にて講演
	◇中国残留孤児集団一時帰国者等 来所、見学
12月	<b>第81期生 退所</b>

**2008年**

1月	<b>第82期生 入所</b>
2月	◇東京都中国帰国者自立研修センター講師10名 来所、見学・懇談
	◇所沢市立美原中学校教諭 来所、外国人児童生徒の学習相談
	◆東海・北陸中国帰国者支援・交流センター主催「まなびや」(名古屋市)にて講演
	◇(財)全国婦人会館「中国帰国者に対する日本語学級」(東京都)館長他 来所、見学
	◇残留孤児集団一時帰国者等 来所、見学
3月	◆国立国語研究所「情報資源の活用に関する検討研究会」出席
4月	<b>《遠隔学習課程(通信教育)》 始まる</b> (2007年度まで中国帰国者支援・交流センターで行っていたもの)
4月～6月	小学生クラス 所沢市立美原小学校 体験入学(約1か月半)
	◇厚労省社会援護局 援護企画課長・孤児等対策室長他 来所、視察
5月	中学生クラス 所沢市立中央中学校 体験入学(約1週間)
	◇中国残留孤児援護基金 上席調査役他 来所、視察
6月	◇『月刊日本語』(アルク) 取材・見学
	◇中国残留邦人集団一時帰国者等 24名来所、見学
7月	<b>第82期生 退所</b>
	◆東京学芸大学 国際教育センター 運営協議会(協議員として)
	◆西東京市、西東京市多文化共生・国際交流センター 共催「日本語ボランティア養成講座」にて講義：「日本語を母語としてない学齢期の子どもの教育と家族」
	<b>第83期生 入所</b>
	◆(独)教員研修センター：文部科学省「平成20年度 外国人児童生徒等に対する日本語指導 指導者養成研修」において講義：「外国人児童生徒の文化的背景について」

	◆墨田区教委 日本語指導研修会にて講義：「児童生徒の初期日本語指導法について」
8月	◆ICN(インターナショナルコミュニティーネットワーク：所沢市)：文化庁地域日本語教育支援事業「子どものための日本語教室」運営委員会(運営委員として)
	◇東京都市生活保護担当課長会構成員(26市の帰国者担当職員等) 32名 来所、見学・研修
9月	◇厚労省社会援護局 援護担当審議官他 来所、視察
10月	◇文化庁文化部国語課長他 来所、聞き取り：「生活者の日本語」について
	◆日本語教育学会秋期大会シンポジウム「日本語教育は〈生活者としての外国人〉のために何ができるか」(発題者として)：「中国帰国者を対象とした適応教育の現場からー〈生活者のための日本語教育〉の歩みを振り返る」
	◇中国政府 孤児問題担当官 来所、視察
	◇中国残留孤児集団一時帰国者等 22名 来所、見学
10月～12月	小学生クラス 所沢市立並木小学校 体験入学(約1か月半)
	◆九州中国帰国者支援・交流センター主催「まなびや」(大分市)にて講演
	◆清瀬国際交流会主催 清瀬市教育委員会共催 文化庁地域日本語教育支援事「日本語学習者を支える地域内ネットワークづくり」研修会にて講演：「中国帰国者の生活と日本語学習の状況」
11月	中学生クラス 所沢市立中央中学校 体験入学(約1週間)
	◇足立区区議会議員 来所、見学
	◆中国帰国者支援・交流センター主催「まなびや」(宇都宮市)にて講演
	《遠隔学習課程》スクーリング講師研修会(第7回) 開催：所沢市にて
	◇スクーリング講師研修会参加者 来所、見学・センターの研修の概要説明
	◇中国残留邦人集団一時帰国者等 28名 来所、見学
	◆北海道中国帰国者支援・交流センター主催「まなびや」(江別市)にて講演
12月	◇狭山市立広瀬小学校日本語指導員 来所、見学
	◆東北中国帰国者支援・交流センター主催「まなびや」(いわき市)にて講演
	◇名古屋大学「とよた日本語学習支援プロジェクト」スタッフ来所、懇談：評価・水準について

2009年

1月	◇厚労省社会援護局 孤児等対策室班長他 来所、視察
	<b>第83期生 退所</b>
2月	◆東京都中国帰国者自立研修センター：日本語教室運営委員会(運営委員として)
	<b>第84期生 入所</b>
	◇中国残留孤児集団一時帰国者等 17名 来所、見学
3月	◇中国・四国中国帰国者支援・交流センター職員 来所、見学
	◆清瀬市役所生活福祉課主催「中国残留邦人の方々への理解を深める講演会」にて講演
	◆国立国語研究所「コミュニケーション能力研究会(第12回)」に出席
	◆中国帰国者支援・交流センター主催「まなびや」(土浦市)にて講演
	◇東京都中国帰国者自立研修センター職員・講師8名 来所、見学・懇談
4月	◇国立障害者リハビリテーションセンター総合相談支援部長 来所、見学
	◇厚労省社会援護局 孤児等対策室長補佐 来所、視察
	◇NHK埼玉支局 取材、撮影：交流実習について
5月	◇東京ボランティアネットワーク研修会参加者10名、埼玉県地域支援者1名 来所、見学・懇談
6月～7月	小学生クラス 所沢市立並木小学校 体験入学(約1か月間)
6月	◆九州中国帰国者支援・交流センター主催「まなびや」(佐賀市)にて講演
	◆西東京市生活環境部生活文化課「日本語ボランティア養成講座」にて講義：「帰国者センターの子どもたち」
	◇中国残留孤児集団一時帰国者等 13名 来所、見学
	◆ICN：文化庁地域日本語教育支援事業「子どものための日本語教室」運営委員会(運営委員として)
	◆清瀬国際交流会主催 清瀬市教育委員会協力「日本語学習支援ボランティア養成講座」にて講義：「外国にルーツをもつ子どもの教育」
	◆東北中国帰国者支援・交流センター主催 支援者研修会(仙台市)にて講演
	中学生クラス 所沢市立中央中学校 体験入学(約1週間)
7月	◇中国残留孤児援護基金理事長・常務理事他 来所、視察
	◆東京学芸大学国際教育センター 運営協議会(協議員として)
	◇所沢市立所沢北高等学校教諭 来所、授業見学・授業協力・交流活動参加等(初任者研修の一環として)
	<b>第84期生 退所</b>

8月	<b>第85期生 入所</b>
	◆ICN：文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業「子どものための日本語指導者養成講座」にて講義：「来日間もない子どもへの指導法」
	◇厚労省大臣官房 援護担当審議官、社会援護局 援護企画課長他 来所、視察
	◆文化庁日本語教育大会パネルディスカッション(パネラーとして)
	◇浜松市立瑞穂小学校 教諭 来所、懇談
9月	◇東京都生活福祉部長 来所、見学
	◇サハリン残留邦人集団一時帰国者 12名来所、見学
10月	◇アジアン・コンプレクス 取材、撮影：ドキュメンタリー番組製作のため
	◆中国帰国者支援・交流センター主催「まなびや」(甲府市)にて講演
	◆東北中国帰国者支援・交流センター主催「まなびや」(山形市)にて講演
11月	◆東北中国帰国者支援・交流センター主催 支援者研修会(秋田市)にて講演
	◇厚労省社会援護局長他 来所、視察
	◆中国帰国者支援・交流センター主催「まなびや」(新潟市)にて講演
	◇中国政府 孤児問題担当官 来所、視察
	◇ボランティアグループ「金曜日本語教室」(所沢市) メンバー9名 来所、見学等(勉強会の一環として)
	◇子どもラサ：子どもラーニングサポート北陸(富山県) メンバー 来所、見学
	◇中国残留孤児集団一時帰国者等 10名 来所、見学
	◆東海・北陸中国帰国者支援・交流センター主催 ボランティア研修会(岐阜市)にて講演
12月	◆江戸川区立小松川第二中学校夜間学級 校内研修会(授業研究会)にて講演：「日本語指導に関する効果的な授業」
	中学生クラス 所沢市立中央中学校 体験入学(約1週間)
	◆横浜市立大学大学院 国際総合科学部にて講演：「中国帰国者の子どもや青年に対する日本語教育の現状と課題について」

## 2007～2009年 を通しての活動

### ●当センター事業 ◆外部への協力

#### ●《遠隔学習課程(通信教育)》用 教材開発・改訂

新たに作成したもの

中国帰国者対象	『自己表現作文(1)日本語学習A・B』(各CD付)
サハリン帰国者 対象	『漢字をおぼえよう 4・5ーロシア語を母語とする人のための漢字教材ー』 『新・日本の生活とことばー2 医療(上・下)』(CD付)

- 《遠隔学習課程(通信教育)》スクーリング講師研修会 開催(毎年度)  
※2007年度までは 中国帰国者支援・交流センターが主催、当センター協力
- 中国帰国者支援・交流センター《遠隔学習課程(通信教育)》の一部を担当  
(2007年度まで) ※この事業は2008年度からは当センターに移管された
- 支援者向けニューズレター『同声・同気』の発行(年3回) 第38～46号
- ホームページ『同声・同気』の運営
- 《遠隔学習課程(通信教育)》スクーリング講師向けニューズレター『スクすく通信』発行 ※2008年度～
- 『こどもメール』※・『あちこちメール』※※の運営  
※ (帰国者/外国人 子女に関わる支援者間メーリングリスト)  
※※ (成人 帰国者/外国人 に関わる支援者間メーリングリスト)
- .....
- ◆中国帰国者支援・交流センター 主催 地域支援者研修会「まなびや」等への協力(講演等)
- ◆中国帰国者支援・交流センター 主催 「高齢帰国者日本語教室」研修会への協力(アドバイザーとして) ※2007年度まで
- ◆東京学芸大学 国際教育センター 運営協議会 出席
- ◆東京都中国帰国者自立研修センター 日本語教室運営委員会出席(2008年度～)
- ◆ICN(インターナショナルコミュニティネットワーク:所沢市):  
文化庁地域日本語教育支援事業「子どものための日本語教室」運営委員会 出席